

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループ・ピーエルシー（証券コード：－）

【据置】

| | |
|------------|-----|
| 外貨建長期発行体格付 | A |
| 格付の見通し | 安定的 |

ナショナル・ウエストミンスターバンク・ピーエルシー（証券コード：－）

【据置】

| | |
|------------|-----|
| 外貨建長期発行体格付 | A+ |
| 格付の見通し | 安定的 |

ナットウエスト・マーケッツ・ピーエルシー（証券コード：－）

【据置】

| | |
|------------|-----|
| 外貨建長期発行体格付 | A |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | A |

■格付事由

- ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループは英国エディンバラを本拠とし、英国やアイルランドを主な事業基盤とする大手金融機関。新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響を和らげるため政府と中銀は大規模な財政金融政策を実施しているが、20年の英国経済は人の移動制限などから、6%を超えるマイナス成長となる見通し。大幅な経済活動の縮小と金利低下により英国銀行全体の収益には下方圧力がかかるほか、失業者や企業倒産の増加から資産の劣化も不可避とみている。JCRでは、当行グループは既に貸倒引当金を計上しているが、今後積み増しが必要となる可能性が高いとみている。しかし、改善した収益力により、当面は吸収可能とみており、3行の格付を据え置きとし見通しも安定的とした。経済の先行きは依然不透明であることから、健全な資産の質や厚い資本など想定以上に影響を与える恐れがあり、今後の影響を注視していく。
- ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループ・ピーエルシー（RBSG）はグループ持株会社。ナショナル・ウエストミンスターバンク・ピーエルシー（NatWest Bank）は英国リテールや商業銀行業務、ナットウエスト・マーケッツ・ピーエルシー（NatWest Markets）は投資銀行業務を担う子銀行。グループ信用力は「A+」相当とみている。これは、英国リテールの強固な事業基盤、健全な資産の質と堅固な資本基盤などを反映している。NatWest Bankの発行体格付はグループの中核子銀行でありグループ信用力と同水準としている。RBSGの発行体格付は破綻処理時の損失を持株会社の債権者が重点的に吸収するシングル・ポイント・オブ・エントリーを採用していることからNatWest Bankの発行体格付から1ノッチ下としている。NatWest Marketsの発行体格付は、グループ内での戦略的な重要性がリングフェンス銀行ほど高くないため、グループ信用力から1ノッチ下としている。19年11月に就任した新CEOはグループを目標重視型の銀行に転換するとともに起業支援、金融教育、気候変動に焦点を当てるほか、回復が遅れているNatWest Marketsの事業の見直しを進める計画である。また、年後半には持株会社名をナットウエスト・グループ・ピーエルシーに変更予定である。
- 資産規模では英国金融グループでは第4位であり、引き続き強固な英国リテール事業基盤を維持している。事業セグメントは、英国パーソナル・バンキング（UKPB）、コマーシャルバンキング（CB）、ナットウエ

ストマーケッツ（NWM）など 7 部門から構成される。UKPB はリテール銀行業務を提供し、英国人口の約 4 分の 1 に相当する個人顧客を保有。英国住宅ローン残高では、19 年末の市場シェアは 10% を超え緩やかに上昇、デジタルバンキングの使用頻度の高いモバイルアプリ利用者数は 690 万を超える。CB は中小企業や大企業を対象に銀行業務を提供しており、英国では顧客満足度が最も高く安定した事業基盤を保持している。NWM は NatWest Markets を通じて投資銀行業務を提供しているが、今後はグループ顧客を対象を絞り事業を見直すとともに中期的にリスク資産を半減する計画。この他にも子銀行を通じたプライベートバンキングやアイルランドでもリテール銀行を展開し主導的な地位を維持している。

- (4) 19/12 期のグループ連結の総収益構成比は UKPB、CB、NWM が大半を占め、それぞれ 34%、30%、9%。地域別では英国が 90% と集中。19/12 期の貸倒引当金利益、税引前利益は 3 期連続で黒字となるなど収益の回復が続いている。所得補償保険の不適切販売に対する補償の追加引当金、リストラ費用、さらにはサウジアラビアの銀行子会社の株式売却関連収益など特殊要因を計上したが、これらを除いてもほぼ前年並みを確保。競争により純金利マージンが低下する中でも貸出残高を増やし安定した総収益を計上している。19/12 期の貸倒引当金利益は、計画を上回るペースで経費削減を進め、49 億ポンドと 31% の増益。与信費用も抑えられ、ROA（税引前利益）は 0.6%（特殊要因除くと 0.4%）と他の大手英銀と遜色ない水準まで改善している。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の影響を一部受けた 20/12 期第 1 四半期の業績は、総収益が前年同期比 4% 増益となる一方、税引前利益は IFRS9 に基づいて不確実な経済見通しに対応するオーバーレイなど大幅な貸倒引当金繰入からほぼ半減している。
- (5) リスク性資産の削減を進める中で資産の質が改善傾向にある。19/12 期末の総資産は顧客貸付 45%、デリバティブ 21%、現預金 11%、トレーディング資産 11% などから構成。顧客貸付残高は 8 割以上が英国に集中している。住宅ローンが貸付全体の 5 割を占めるが、その他は産業別に分散している。商業不動産は 6%、クレジットカード/消費者金融は 4% と僅かである。住宅ローンと商業不動産の加重平均 LTV も 57%、48% と引き続き低位。大口与信の集中リスクも小さい。19/12 期末の不良債権比率（ステージ 3）も前年の 2.6% から 1.9% まで低下している。デリバティブは顧客に対するリスクソリューションが中心でネットポジションは小さい。トレーディング資産はリバースレポ、現金担保付のデリバティブ、さらには投資適格の国債などで占められている。市場リスクも引き続き低位に抑えられている。20/12 期第 1 四半期末はリボルビングの利用から貸出残高が増加する中、貸倒引当金は貸出残高の 1.2% にやや引き上げている。
- (6) 資本はリスク量対比で十分な厚みを有している。19/12 期末のグループ連結の普通株式等 Tier1（CET1）比率は 16.2% と他の大手英銀と比べても高い。高い株主報酬等から利益による資本の蓄積までに至っていないものの、リスク性資産の大幅な削減が奏功している。政府が依然議決権ベースで 6 割以上の株式を保有している。RBSG は株主から 4.99% の政府保有株式の買い戻しが認められている。実施には政府の裁量余地があるが、政府は市場環境や株価を考慮して 24 年までに保有分を全て売却する方針。預貸率は預金以上に貸付残高が増加したため 89% とやや上昇。市場からの調達も少なく、引き続き潤沢な流動性を確保している。20/12 期第 1 四半期末の自己資本比率は 20 年末までの配当停止などから 19/12 期末よりさらに上昇したほか、高水準の流動性も維持している。

（担当）内藤 寿彦・宮尾 知浩・佐伯 春奈

■ 格付対象

発行体：ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループ・ピーエルシー

（The Royal Bank of Scotland Group plc）

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|------------|----|-----|
| 外貨建長期発行体格付 | A | 安定的 |

って、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル